

小泉さんチーム（小泉維吹さん・中川大河さん）が出場する全日本470級選手権は11/20から予選レースがスタートした。決勝シリーズのはじまる22日、江の島ヨットハーバーへ応援に行った。10時49分、釣り人の遠くに見える沖合<下の写真>でレースがスタート。しかし、ポカポカ陽気で、風が止まる。結局、この日のレースは不成立。



←釣りや日向ぼっこに最適なポカポカ
陽気はセーリングには不向きなことが
体で理解できた



気を取り直して、11/24（月）、再び江の島ヨットハーバーに到着。海にどんよりと曇った空から薄明かりがさしている。快晴ではないものの、海上の風の状態は良く、既に決勝第5レースに挑むディンギーは既に海上へ。9時47分、決勝（ゴールドフリート）第5レースがスタート。





沖合で激しいレースが展開されていると思うが、あまりに遠く小泉さんの健闘を撮影することはできなかった。今回は仁川アジア大会の反省から、双眼鏡を持って行った。しかし、それでも小泉さんの「4336艇」を認識できなかった…。(すみません、反省です ^_^;)

反省ついでに、470級について少し調べてきた。

『470級は、1963年にフランスのアンドレ・コルヌによってデザインされた2人乗りのレーシング・ディンギー。全長470cmのため、470（ヨナナマル）と呼ばれている。舵取りを担当する「スキッパー」とヨットの傾き調整を担当する「クルー」の2人乗り。小泉さんチームでは小泉さんが「スキッパー」で、中川さんが「クルー」。

470級の乗員の適正体重は2人の合計で130kg前後とのこと。要求される乗員の体重としては五輪種目の中でも最も軽量で、数あるヨット競技の中でも、欧米人に比べ小柄な体格の日本人に最も適した種目。

国内で最もレース活動が盛んで優秀な選手も多い。オリンピックでは1996年アトランタ大会で女子の重由美子、木下アリーシア選手組が銀メダル、2004年アテネ大会で男子の関一人、轟賢二郎選手組が銅メダルを獲得している。』

競争の激しい470級の日本一を決める大会の小泉さんのレース結果にもどる。

11月20日に予選シリーズが3レース、21日に予選シリーズが2レース、22日はレースなし、23日に決勝シリーズが4レース、24日に決勝シリーズが1レースと23日までのTop10が参加するメダルレースが開催された。

合計10レースの小泉さんの結果は

第1レース：7着、第2レース：11着、第3レース：リタイア、第4レース：16着、第5レース：11着、第6レース：22着、第7レース：21着、第8レース：20着、第9レース：16着、第10レース：15着で、トータルスコアは139、実業団や大学生の選手が多い中、全体での順位は21位、ジュニアでの順位は8位。

結果詳細は下表に ↓

2014年 第43回全日本 4 7 0 級ヨット選手権大会

Race Number 1R 2R 3R 4R 5R

Rank	名前	所属	女子	ジュニア	P.	P.	P.	P.	P.
1	土居一斗/今村公彦	ABeam Consulting			1	1	1	1	1
2	松永鉄也/吉田雄悟	ThreeBond			2	6	2	2	2
3	飯東潮吹/八山慎司	株式会社 エスピーネットワーク			1	1	3	1	1
4	石川裕也/阿部純	トヨタ自動車東日本/横浜市消防局			6	2	6	4	4
5	磯崎哲也/津留健	日本経済大学		J	5	5	2	6	13
6	中村睦宏/木村直矢	日本大学ヨット部		J	3	2	1	5	11
7	市野直毅/外園潤平	和歌山県セーリングクラブ/九州旅客鉄道株式会社			<u>OCS</u>	3	3	2	3
8	吉田愛/吉岡美帆	(株)ベネッセホールディングス	◆		4	6	4	13	3
9	河合龍太郎/小川晋平	三井住友海上火災保険(株)			2	4	5	6	5
10	加藤弘章/吉永琢磨	柳ヶ崎セーリングクラブ			14	8	10	14	6
11	岡田奎樹/宮口悠大	早稲田大学ヨット部/中央大学学友会体育連盟ヨット部		J	3	7	7	3	10
12	山口祥世/畑山絵里	NOEVIR	◆		8	<u>40</u>	8	7	2
13	近藤康史/木村俊介	(株) ガルフネット/ (株) 筑波銀行			6	3	6	3	8
14	渡邊哲雄/野呂英輔	株式会社 エスピーネットワーク			4	7	9	5	7
15	神木聖/甲斐晋平	関西学院大学体育会ヨット部		J	5	10	31	9	12
16	高山大智/出口光良	和歌山県立星林高校ヨット部/和歌山大学ヨット部		J	8	9	8	10	22
17	田中航輝/西野裕太郎	九州大学/同志社大学		J	<u>OCS</u>	10	9	15	6
18	今村亮/大嶋龍介	愛媛県セーリング連盟			7	5	15	11	5
19	長堀友香/成川健一	慶應義塾体育會ヨット部			18	13	13	14	9
20	北詰有人/高濱良	九州大学		J	22	9	13	7	14
21	小泉維吹/中川大河	山口県セーリング連盟/日本経済大学ヨット部		J	7	11	RET	16	11
22	小泉颯作/太田貴弘	早稲田大学ヨット部/明海大学ヨット部		J	12	4	5	4	15

2014年 第43回全日本 4 7 0 級ヨット選手権大会

Race Number 6R 7R 8R 9R 10R

Rank	名前	所属	女子	ジュニア	P.	P.	P.	P.	P.	SCR.
1	土居一斗/今村公彦	ABeam Consulting			1	5	<u>OCS</u>	1	4	20
2	松永鉄也/吉田雄悟	ThreeBond			2	1	1	<u>10</u>	5	28
3	飯東潮吹/八山慎司	株式会社 エスピーネットワーク			<u>19</u>	3	11	14	1	37
4	石川裕也/阿部純	トヨタ自動車東日本/横浜市消防局			9	2	<u>10</u>	4	2	41
5	磯崎哲也/津留健	日本経済大学		J	5	<u>28</u>	3	2	7	55
6	中村睦宏/木村直矢	日本大学ヨット部		J	8	11	9	6	10	65
7	市野直毅/外園潤平	和歌山県セーリングクラブ/九州旅客鉄道株式会社			6	18	2	28	3	71
8	吉田愛/吉岡美帆	(株)ベネッセホールディングス	◆		13	8	4	<u>21</u>	8	71
9	河合龍太郎/小川晋平	三井住友海上火災保険(株)			16	6	14	<u>23</u>	9	76
10	加藤弘章/吉永琢磨	柳ヶ崎セーリングクラブ			3	4	<u>26</u>	8	6	79
11	岡田奎樹/宮口悠大	早稲田大学ヨット部/中央大学学友会体育連盟ヨット部		J	10	13	17	<u>27</u>	3	73
12	山口祥世/畑山絵里	NOEVIR	◆		12	19	16	9	4	85
13	近藤康史/木村俊介	(株) ガルフネット/ (株) 筑波銀行			18	33	5	<u>36</u>	9	91
14	渡邊哲雄/野呂英輔	株式会社 エスピーネットワーク			<u>27</u>	20	24	20	1	97
15	神木聖/甲斐晋平	関西学院大学体育会ヨット部		J	11	9	6	<u>40</u>	19	112
16	高山大智/出口光良	和歌山県立星林高校ヨット部/和歌山大学ヨット部		J	<u>34</u>	14	8	30	8	117
17	田中航輝/西野裕太郎	九州大学/同志社大学		J	15	27	25	3	12	122
18	今村亮/大嶋龍介	愛媛県セーリング連盟			<u>OCS</u>	26	27	26	5	127
19	長堀友香/成川健一	慶應義塾体育會ヨット部			21	10	<u>35</u>	15	20	133
20	北詰有人/高濱良	九州大学		J	<u>32</u>	7	30	13	21	136
21	小泉維吹/中川大河	山口県セーリング連盟/日本経済大学ヨット部		J	22	21	20	16	15	139
22	小泉颯作/太田貴弘	早稲田大学ヨット部/明海大学ヨット部		J	<u>42</u>	40	7	29	29	145

下の写真は「メダルレース（23日までのTop10選手のみが参加するレース）」の様子。このレースのみ岸の近くで行われる。レースの臨場感が伝わる距離、素人の私がみても選手の躍動がわかる。素晴らしい！
次回は、小泉さんを「メダルレース」で応援できるはず。



余談ですが、レースが成立しなかった22日に小泉さんの活躍を江島神社にお願いしたので、紅葉の神社に一応、お礼参り。

江の島へ行くといつも「江の島の猫」を“よしよし”なでているが、今回はポカポカ陽気におネムな子たちばかり。（にゃあ、ゴロゴロ）

